

郡山市子ども・子育て会議委員委嘱状交付式 及び第18回郡山市子ども・子育て会議 会議録

【日時】

平成28年9月26日（月）午後1時30分～午後2時20分

【場所】

こども総合支援センター（ニコニコこども館）3階 研修室

【次第】

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 事務局職員紹介
- 5 会長及び副会長選任
- 6 議事
 - (1) 郡山市子ども・子育て会議の概要について
 - (2) 各分科会の委員について
 - (3) その他
- 7 その他
- 8 閉会

【出席委員】

13名（敬称略）

吾妻 利雄、遠藤 重子、大川原 順一、大竹 亜紀、今野 静、隅越 誠、滝田 良子、平栗 裕治
福内 浩明、保住 キミ、増子 静江、峯 淳子、安田 洋子

【欠席委員】

7名（敬称略）

太神 和廣、大和田 新、笠井 修、加藤 友和、源後 正能、佐藤 広美、鈴木 宮子

【事務局職員】

18名

こども部：佐々木 修平（部長）、鈴木 弘幸（次長）、渡辺 伸市（次長）、伊藤 綾子
（次長兼こども育成課長）、塚原 馨（参事兼こども未来課長）
こども未来課：遠藤 尚孝（主幹兼課長補佐）、石田 佐和子（こども企画係長）、伊東 惣市
（青少年・放課後児童育成係長）、木村 祥一（こども企画係主査）
こども支援課：滝田 昌宏（課長）、伊藤 克也（課長補佐）、柳沼 洋史（主任主査兼こども
家庭相談センター所長）、山田 てるみ（主任技査兼母子保健係長）
こども育成課：熊田 久美子（主幹兼課長補佐）、片平 力也（課長補佐）、井上 薫（主任主査
兼管理係長）、佐久間 由三子（主任主査兼認定給付係長）、橋本 徹（保育所
係長）

【配布資料】

- ・郡山市子ども・子育て会議の概要について
- ・【参考】平成28年度「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の目標設定等について
- ・郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン
- ・郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン実施計画

- ・郡山市子ども・子育て会議条例
- ・子ども・子育て支援法抜粋
- ・郡山市子ども・子育て会議各分科会委員（案）【後ほど配布】

1 開会

(遠藤主幹)

定刻となったので、ただいまより「郡山市子ども・子育て会議委員委嘱状交付式及び第18回郡山市子ども・子育て会議」を開催する。

本日は20名中13名の委員が出席しており、郡山市子ども・子育て条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを報告する。

はじめに、品川萬里郡山市長より挨拶を申し上げます。

2 市長あいさつ

【品川市長から以下のとおり挨拶がある。】

- ・幼児期の知念は大人の7年分に相当すると言われていたことから、子どもにとって「体験する」ことは重要と考える。
- ・この会議では分科会が2つ設置されており、「子どもの権利条例分科会」では、子どもの権利について、どのような条例を定めていくかを御審議いただいている。
- ・また、「保育所等の待機児童解消に関する分科会」では、1人の児童も待機することなく、保護者の保育の希望を叶える体制を整えるための施策について広く御審議いただいている。
- ・児童憲章の前文には「児童は人として尊ばれる」という一文があり、行政もどんなに小さい子どもでも「人」として尊重し、施策を進めていかなければならない。

【遠藤主幹から、委嘱状については卓上での交付とすること及び品川市長は次の公務のためここで退席する旨を伝える。】

3 委員紹介

【出席委員が自己紹介をする。】

4 事務局職員紹介

【遠藤主幹から、「平成28年度事務局職員一覧」を基に紹介がある。】

5 会長及び副会長選任

(遠藤主幹)

続いて、会長及び副会長の選任に移るが、郡山市子ども・子育て会議条例第4条第1項により「会長及び副会長は委員の互選によって定める」と規定されている。

会長等の選任については、どのようにしたらよいかお諮りする。

【委員から「事務局一任」の声があり、事務局：佐々木部長から会長に滝田良子委員を、副会長に平栗裕治委員を選任する案が提示される。】

(遠藤主幹)

ただ今、事務局から案が提示されたがどうか？

【委員から「異議なし」の声がある。】

(遠藤主幹)

異議なしとのことなので、会長には滝田委員が、副会長には平栗委員が選任された。
ここで、滝田会長、平栗副会長から御挨拶をいただく。

【滝田会長から以下のとおり挨拶がある。】

- ・平栗副会長と共に、皆様からお力をお借りして会長を務めさせていただく。
- ・近年、待機児童問題が全国的に広まっており、子どもの貧困や児童虐待など、子どもに関する問題は多岐に亘っているが、これらは郡山にも押し寄せている課題である。
- ・各課題について、この会議において皆様と協議し、解決していきたい。

【続いて、平栗副会長から以下のとおり挨拶がある。】

- ・郡山の子どもたちをどのように育てていくのかが大きな課題である。
- ・滝田会長を支え、皆様の協力を得ながらを課題について考えていきたい。

6 議事

【議事の前に、遠藤主幹から本日配布した資料の確認がある。】

(遠藤主幹)

それでは「議事」に移るが、以降の会議の進行については、郡山市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定により、滝田会長に議長をお願いする。

(滝田会長)

それでは、議長を務めさせていただく。

早速、「(1) 郡山市子ども・子育て会議の概要について」事務局から説明願う。

【事務局：木村主査から、資料「郡山市子ども・子育て会議の概要について」及び「【参考】平成28年度「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の目標設定等について」に沿って説明がある。】

(滝田会長)

ただいまの事務局からの説明について、質問や意見はあるか？

【特に質問等なし。】

(滝田会長)

続いて「(2) 各分科会の委員について」事務局から説明願う。

【事務局：木村主査から、各分科会の委員について以下のとおり説明がある。】

- ・本会議には「子どもの権利条例分科会」と「保育所等の待機児童解消に関する分科会」が設置されている。
- ・この度の委員改選に伴い、各分科会に配属になる委員についても改めて選任する。
- ・分科会委員の選任については、郡山市子ども・子育て会議条例により「会長が指名する」と規定されている。

【事務局：木村主査からどのように委員を配属するかお諮りする。】

(滝田会長)

ただ今、事務局からの説明にあったとおり、分科会の委員については会長が指名するとなっている。

各分科会での審議内容は全体会議において報告されているが、どちらも継続審議中であることから、基本的には前回から所属していた委員には残留していただきたいと考えているが、この点についてはどうか？

【委員から「異議なし」の声がある。】

(滝田会長)

続いて、今回新たに委員に就任した方の配属先について、事務局で案があれば示していただきたい。

【事務局から各委員へ「郡山市子ども・子育て会議各分科会委員（案）」を配布する。】

【事務局：木村主査から「郡山市子ども・子育て会議各分科会委員（案）」に沿って説明がある。】

(滝田会長)

ただ今、事務局からの説明があったとおり指名したいと思うがどうか？

【委員から「異議なし」の声がある。】

(滝田会長)

続いて「(3) その他」であるが、本日は改選後初めての会議であることから、各委員から一言ずつお話しいただきたい。

(吾妻委員)

子どもを保育所で預かっている立場としてこの会議に参加しており、現在、郡山市では待機児童の解消に向けて、保育所の認可を進めているところである。

新たに認可になった保育所については、2ヶ月に1回開催している「認可保育所長会」において共に研鑽を重ね、より良い認可保育所になろうと活動しているところである。

この会議の中で、保育所のあり方等について皆さんから御指導・御助言をいただきたい。

(遠藤委員)

私の所は認可外の保育園だが、認可・認可外に関係なく、郡山の子どもたちは皆同じなので、一人ひとりの子どもがいかに健康で、保護者が安心して預けられるかが、子育ての応援者としての絶対的な役割であると考え、認可外の保育園に呼びかけ、一丸となって取り組んでいきたいと考えている。

(大川原委員)

地元の中小企業にとって働く女性は重要であり、産休・育休から復帰するために安心して子どもを預けられる環境がないと、継続して働けないということが現実としてある。

地元で生業をする我々にとっては、郡山市が環境を整備することが重要な課題になるので、そういった視点から企業側の意見を述べさせていただきたいと考えている。

(大竹委員)

私は幼稚園・保育所の保育料無料化に一番の関心がある。

働いている保護者から「働いても保育料に消えていく」という話をよく耳にするので、その分を我が子に回せるように無料化や軽減について、もっと考えていきたいと思う。

また、インフルエンザの予防接種は、現在、自己負担が発生しているが、ここに補助等があれば、予防接種を受ける人が増え、流行を抑えることができ、結果として全体的な改善につながると思う。

(今野委員)

私は助産師でもあるので、妊娠中の母親への支援や出産後の子育ての支援について考えていきたいと思う。

また、福島県全体としても人材不足が大きな問題になっているので、女性が長く働き続けるために、子育てをどうしていくのかを併せて考えていけたらと思っている。

(隅越委員)

私は小児科医であり、子どもたちの健康について日々直面している。

福島県で一番問題になっているのは放射線関係と肥満の問題であり、今までもこれらの問題について色々取り組んできたとは思いますが、今後も継続してもらい、心身の健康を作っていけるようにしたいと考える。

また、ここで話し合ったことを行政に反映してもらい、実行していくことが大切だと思う。

(安田委員)

待機児童問題については、国でも様々な制度を考えて提示しているが、はたして現実的に実現できるものなのかということが検討課題かと考える。

また、気になる子・支援が必要な子が増えていると感じるので、このことについて様々な機関と連携できるシステムがあればと思う。

最後に、保育士の確保については、現場は頭が痛いところであるので、保育士になりたいという方をいかに継続して確保していくかについても話し合っていきたい。

(峯委員)

10年前と比べると、子育てや支援の仕方が変わってきて、子育てしやすい環境になってきたと感じる。

私の周りの人も「出産後は仕事に復帰したい」と話している人が多いので、今以上に子育てしやすい、出産後復帰しやすいようになればと思う。

(増子委員)

本日、公募委員として皆さんのお話を聞いて勉強になった。

私も保育士の資格は持っているが、自分の子育てに精一杯だった。

一段落してようやく周りを見る余裕ができた。

近所の子どもたちを見たときに「純粹無垢」であると感じ、子ども一人ひとりの個性を伸ばしたいと思い、個人的なことではあるが保育士として働きたいと常々考えている。

(保住委員)

「食」は、決められた時期を逃して、後で栄養のあるものを食べても育たない。

子どもが必要とする時期に必要なものを食べて初めて健康な成長になり、子どもの頃の食生活のベースにあるのは、保護者の食に関する教育であり、それを含めた対応が非常に大切であるので、それらについても協議できればと思う。

(福内委員)

一人の郡山市民として、一人の親として、行政と企業と市民が手を取り合って福島県で一番子どもに優しい郡山になればよいと考えている。

(平栗委員)

少子高齢化やITの発達、企業感覚、行政など、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わってきており、郡山の子どもたちをどのように育てていくかが大きな課題であることから、子どもたちに視点を当てて、時代をリードできるようなことを考えていきたい。

(滝田会長)

改選後第1回目の会議ということで各委員の思いを聞いたが、本日出された課題について、この会議で審議を進めていければと思う。

事務局からはその他、何かあるか？

【事務局：片平補佐から、先に開催された「第4回保育所等の待機児童解消に関する分科会」の審議内容について報告がある。】

(滝田会長)

全ての議事が終了したので、議長の職を解かせていただく。

7 その他

(遠藤主幹)

その他について何かあるか？

【事務局：木村主査から、次回以降の会議開催日程について事務連絡がある。】

(遠藤主幹)

以上をもって、会議を終了する。

以 上